

図書館で調べよう

～実践編～

刀・武具



古来刀や武具というのは男性の持ち物であり、その命を共にする相棒でした。彼らはその一つ一つに己の運命と命を託し、己が為皆の為に、または武将たちの政治的政略的な一品として、あるいは神々に献上する奉納品として珍重されてきたのです。

それから幾千の年月を経て時は平成の世。かつての英雄たちが使った刀や武具は宝物品として人々の目を楽しませる事がメインとなり、なかなか身近に感じるものではなくなっていました。しかしそれでも、その存在はいつだって見た者を捉えて離さず、我々を魅了し続けるのです。

【凡例】

- ★ () 内は本の背についているラベル。置いてある場所を示しています。
- ★ ラベルに“R”がついている、または“館内”というシールが貼られている本は貸出できません。館内をご利用ください。
- ★ 貸出できない本でも、必要な部分のコピーはできます (1枚…10円)

1 テーマについて調べるキーワード

手がかりとなるキーワードを集めることが、情報検索のポイントです。「あつ太君」(館内検索端末)でこれらのキーワードを使って検索していきます。一覧の中から見たい資料を選ぶと、場所や背ラベル、状態などがわかります。

刀 刀剣 刀匠 短刀 打刀 太刀
大太刀 薙刀 鍔 柄 鞘 武具
甲冑 兜 槍 弓 など



2 入門的な情報源・テーマの理解

百科事典、専門事典、年鑑、白書などの参考資料を見て、本を探す前にテーマの基本的な情報を得ることで、より探しやすいくなります。

- *『図説西洋甲冑武器事典』 柏書房 (230/ミ)
- *『図説日本合戦武具事典』 柏書房 (210.03/サ)
- *『世界の刀剣歴史図鑑』 原書房 (756/ウ)

3 キーワードにあった図書を探す

刀について調べる

『日本刀ハンドブック』	里文出版	(756/ス)
『日本刀の教科書』	東京堂出版	(756/ワ)
『日本刀図鑑』	光芸出版	(756/ト)
『図解日本刀事典』	学研	(756/ス)

職人について調べる

『日本刀名工伝』	雄山閣出版	(756/フ)
『人間国宝事典 工芸技術編』	芸艸堂	(709/二)
『刀鍛冶の生活』	雄山閣出版	(756/フ)
『刀工遺跡めぐり三三〇選』	雄山閣出版	(756/フ)

刀装具などを調べる

『刀剣 刀装具』	徳川美術館	(756/ト)
『刀装具鑑賞画題事典』	里文出版	(756/フ)
『鐔・刀装具 100 選』	淡交社	(756/イ)
『日本刀・刀装事典』	里文出版	(756/ス)

武具について調べる

『武器甲冑図鑑』	新紀元社	(559/イ)
『すぐわかる日本の甲冑・武具』	東京美術	(756/ム)
『勇将の装い』	ピエ・ブックス	(756/ユ)
『世界の甲冑・武具歴史図鑑』	原書房	(756/ク)
『図説西洋甲冑武器事典』	柏書房	(230/ミ)

人との関わりを通して考察する

『名刀と日本人』	東京堂出版	(756/ワ)
『日本刀よもやま話』	雄山閣出版	(756/フ)
『刀と日本人』	光芒社	(756/オ)
『剣豪その流派と名刀』	光文社	(789/マ)

知ると更に面白い

『日本刀の彫物』	光芸出版	(756/サ)
『江戸の槍鞘コレクション』	里文出版	(756/イ)
『ことばのゆらい図鑑 1』	ハッピーオウル社	(81/ヒ/1)
『日本の剣術』	学研	(789/ニ)

県内にゆかりのある名工

*山浦 清磨 [源 清磨] (刀工:信濃国小諸藩赤岩村出身)

『清磨大鑑』	刀剣春秋	(N750/ヤ)
『刀匠源清磨の生涯』	銀河書房	(N930/タ)
『刀工 山浦真雄 清磨 兼虎伝』	桐原書店	(756/ハ)

*宮入 行平 (刀工:長野県埴科郡坂城町出身)

『鉄と火と水と』	銀河書房	(N750/ミ)
『刀匠一代』	新人物往来社	(N750/ミ)
『人間国宝シリーズ 29』	講談社	(709/ニ/29)

県内にゆかりのある武将の刀・武具

『備え』	長野市教育委員会	(N750/ソ)
『武田信玄・勝頼の甲冑と刀剣』	宮帯出版社	(756/ミ)
『甦る武田軍団』	宮帯出版社	(756/ミ)
『赤備え』	宮帯出版社	(756/イ)

<その他>

『信濃の名刀探訪』	ながの二葉書房	(N750/オ)
『刃が語る信濃』	長野県立歴史館	(N750/ヤ)

4 新聞・雑誌など

新聞や雑誌は図書に比べて新しい情報を提供してくれる資料です。棚にない新聞や雑誌は書庫に入っていますので年月日、号数を指定の上カウンターまでお問い合わせ下さい。

<新聞>

『信濃毎日新聞』（本紙；昭和55年1月～所蔵）

『朝日新聞』、『日本経済新聞』、『読売新聞』、『毎日新聞』、『産経新聞』、『中日新聞』、

『JAPAN TIMES』（※信濃毎日新聞以外は3年間保存です）

<データベース>

『信毎デジタルアーカイブス』

『国立国会図書館デジタルコレクション』

※信毎データベース及び国立国会図書館デジタルコレクションの利用を希望される方は「利用者用端末使用申込書」へ必要事項を記入し、2階カウンターにてお申し込みください。詳しいご利用方法については職員までお問い合わせください。

（受付時間 平日 9:45～18:00 土日祝 9:45～17:00）

<雑誌>

『芸術新潮』『剣道時代』など

5 インターネットから探す

インターネットでは最新の情報を得ることが出来ますが、あらゆる情報が氾濫しているので信用出来る情報とそうでないものがあり、情報の信憑性を確認する必要があります。以上の点を踏まえて、いくつかのサイトを紹介します。

<長野県内のサイト>

*真田宝物館 <https://www.sanadahoumotsukan.com>

*上田市立博物館 <https://museum.umic.jp/hakubutsukan/>

*長野市文化財データベース（県内の文化財について簡単に検索ができます）

<http://bunkazai-nagano.jp/>

*坂城 鉄の展示館 <https://www.tetsu-museum.info/>

<法人・博物館など>

*公益社団法人 日本美術刀剣保存協会（刀剣博物館）<http://www.touken.or.jp/>

*東京国立博物館 <https://www.tnm.jp/>

*さむらい刀剣博物館 <http://samurai-sword-museum.com/samurai.html>

<博物館・美術館検索サイト>

*Internet Museum <https://www.museum.or.jp/>

全国の博物館・美術館が検索可能で、展示情報なども見ることができます。

詳細は各公式施設でご確認下さい。

<アプリ>

iPhone／「App store」 Android／「Google Play」等で検索し、無料／有料ダウンロード

（*アプリの動作環境等については公式HP等でご確認下さい）

また、公式 twitter や Facebook などがあるところも多いので、こちらも興味がある人は登録してフォローしてみても。生きた話が読めるのが魅力です。

Twitter：<https://twitter.com/> Facebook：<https://ja-jp.facebook.com/>